

大分県立芸術文化短期大学附属図書館

図書館だより

No. 32
2019.Apr.

The Oita Prefectural College of Arts and Culture Library Bulletin



表紙作品『みちくさ文様』 三野 彩夏(2017年専攻科造形専攻修了)

西洋で活版印刷が盛んな時代に、装飾として用いられた花形装飾(装飾活字)に着目し、日本の草花を造形モチーフとして現代風アレンジした作品です。組み合わせによって様々な展開を楽しむことができ、デジタル上での使用も想定されています。

Contents

- ① 新入生にすすめるこの一冊
- ② AV視聴コーナーへ行こう!
- ③ 学生選書ツアー
- ④ こんな本が新しく入りました
- ⑤ 部門別年間ランキング

新入生にすすめるこの一冊



美術科

中原 伸浩
先生

「図書館の画集など」

映画監督スタンリー・キューブリックは、あらゆる映画を一生見続けたのだそうです。一方、「知識は制作の役には立たない」と、現代絵画の巨匠アグネス・マーティンは断言しています。私には、新入生の皆さんにこの一冊を是非、と言う本はありませんが、代わりに新しくなった図書館の奥の棚にある和書と洋書の画集をご紹介します。ここには国や地域、また時代や様式、芸術運動などによって編集された全集や、モノグラフという、一人の画家や彫刻家などの作品をまとめたもの、あるいはカタログ・レゾネという、一人の作家の作品を、時系列にすべて網羅した全作品集などもあります。いまはあまり見なくなりましたが、子供の頃から学生時代を通して、近所の図書館や書店に出掛けては、背表紙の読めないものも、それこそ手当たり次第に画集や作品集を見ていました。たとえそこに書かれている説明が読めなくても何も予備知識がなくても、作品を眺めるのにまったく困らないです。web という便利なものがありますが、丁寧に作られた本はやはり格別です。忙中閑あり。空いた時間に真新しい図書館くつろに寛いで、絵画や彫刻の本を繙くひもとのもよいのではないのでしょうか。

(なかはら のぶひろ／油彩画)



音楽科 磯崎 淳子 先生

『《セロ弾きのゴーシュ》の音楽論 音楽の近代主義を超えて』

梅津時比古 著 760.4/U74

宮澤賢治 著 918.6/C44

『《セロ弾きのゴーシュ》の音楽論』は宮澤賢治の童話『セロ弾きのゴーシュ』をたどりながら副題にある「音楽の近代主義を超えて」演奏論、演奏家論を展開していくものである。

穴の開いたセロ(チェロ)しか持たず、テクニクのない演奏家ゴーシュは毎夜訪れる猫、ねずみ、かつこうなどに教えられやがて聴衆を感動させるという原作であるが、ゴーシュを通して賢治は近代合理主義を超えて「いかに弾くべきか」でなく「なにを弾くべきか」という新しい演奏家論を提示していることに梅津氏は着目する。

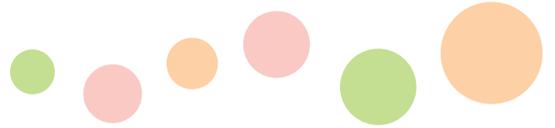
1章は「楽器の思想」でゴーシュが奏でていた穴あきのセロから楽器と演奏家の関係に言及し、名器というものが先験的に存在するものではなく演奏者との関係によって生み出されるものであると結論している。

第2章は「テクニク思想」でテクニク(表現を伝える為の技術)と機械的な指の動きの技術である「メカニズム」に分けて語られる。この章が実は私にとって一番興味のあるところで皆さんに是非読んでいただきたいところである。下手くそなセロ弾きゴーシュが動物達の教えを受けてなぜ10日の間に観客を感動させる「インドの虎狩り」を演奏することができたのか。感動を呼ぶ音楽の実態がどこにあるのかを問いかけていきます。3章は「音程の思想」で弦楽器の調弦からピアノの調律における平均律の考え方や、調律師と演奏家の関係「調律の芸術」が語られこちらも興味深い。

こんな小難しい本はちょっとという方、または宮澤賢治の『セロ弾きのゴーシュ』は読んだことがないとおっしゃる方は是非まずこちらを読んでみてください。そこから梅津氏の言う近代主義を超えた演奏論、演奏家論が見えてきたら楽しいかもしれません。

(いそぎき あつこ/ピアノ)





国際総合学科
千賀 喜史 先生

『すべてはモテるためである』

二村ヒトシ 著 159.7/N75

サラリーマン時代、仕事終わりによった本屋のことである。かわいいイラストに目が魅かれ本を手にする。1枚目をめくると「あなたがモテない理由、それはあなたがキモチワルイからでしょう」という失礼な文面に遭遇。「なんだこれは！失敬な！」憤慨し、おもむろに振り上げた拳を平手に変え表紙を隠し、そつとレジへ入場。小柄なお姉さんに『カバーつけてください』と小声でささやいたことを今でも思い出す。当時ポマードにきつめのベスト着用、エリートサラリーマン風クセ強めの私はどうにもモテない。その折にこの本に出会う。タイトルや本のイラストとは裏腹に中身は濃い。いや、もちろん恋の話も出てくる。モテない男がどうしたらモテるのかという指南書ではあるが、その切り口が鋭い。自分が恋をする相手は自分の理想を投影しており、自分を好きにならない限り相手のことを好きにはならない。だから、モテるために相手を想いやるとはどういうことかを元AV監督が語る。この本は「モテるにはどうするか」を切り口とした「人間が生きることそのもの」への問いであるが、難しい言葉は一切ない。ただ、読み終えた後にはこの世界の愛おしさが余韻として伝わってくる一冊である。

(せんが よしふみ/経営学)



情報コミュニケーション学科
村上 信子 先生

『督促OL修行日記』

榎本まみ 著 916/E63/1

主人公は新卒で信販会社に就職したOL。と言ってもいきなり配属されたのがクレジットカード料金などを滞納したお客様に入金を促すコールセンター。仕事内容は電話での督促。就職氷河期を果敢に乗り越えワクワクドキドキの期待感いっぱいに入社するも、初日から裏切られたような気分になる作者。督促電話の電話口からは怒鳴り声や罵倒の嵐。毎月誰かが辞めて行く職場。回収できた金額は個人ごとにグラフ化され、上司からも激を飛ばされる毎日。想像するだけで酷い職場。でもこれ全部が実話。作者の気持ちは手に取るように伝わってきました。「辞めちゃえば良いのに。いつ辞めるんだろう」と思いながら読み進めていくと、あっという間に2時間で読み終えました。過酷な環境に屈せず作者が成長していく過程に思わず涙ぐんでしまうこともありました。なぜ私がこの本を皆さんにオススメするのでしょうか。それはこの本を通じて皆さんにも作者の強さを共有してもらいたいから。いったん社会に出ると、自分の身は自分で守るしかありません。誰も守ってくれません。作者が経験した地獄のような日々はどの職場でも起こり得ます。罵詈雑言を浴びせかけてくるお客様や上司に遭遇してしまう可能性は残念ながら否めません。そんな落ち込んだ時に必ず役に立ってくれる一冊だと確信しています。屈強な社会人になってくださいね。

(むらかみ のぶこ/広報・宣伝論)





AV視聴コーナーへ 行こう!



～国際総合学科 中野 芳彦先生おすすめのディスク～

『PARIS (パリ)』

2008年フランス (DVD)

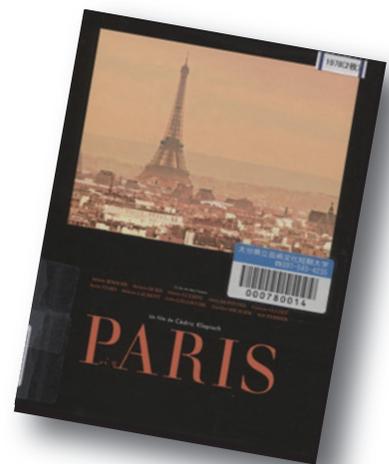


人は誰しも、いつか死を迎えます。それを頭では分かっている、もし数ヶ月後の自分が、50%の命しか保証されていないなら。あなたはどの時間を使うでしょうか。セドリック・クラピッシュ監督の『PARIS (パリ)』は、そんな使い古された、しかしいつ私たちが直面してもおかしくない問いを描きます。主人公のピエールは、ムーラン・ルージュで働いていた元プロ・ダンサー。心臓を患い、移植手術をしても五割の確率で死にいたると宣告されます。決して軽いテーマではありません。ときおりバックに流れるサティの『グノシエンス』1番も、そんなもの悲しい雰囲気強調します。映画の冒頭でうつるのは、父の埋葬に立ち会う大学教授と建築家の兄弟。作品のあちこちに、「死」のテーマが散りばめられているわけです。

死が身近になって気づくのは、結局、「人生でぜったいやりたい事」など無いということ — つまり、人生を一瞬でバラ色にする「魔法の言葉」など存在しないということです。死へとなだれ込む時間に、ささやかな抵抗を試みるピエールが選択するのも、大きな幸せの追求ではありません。道ゆく人びとを眺め（ときには窓のをぞき見して）、彼らの生活を想像し、単調な日常をじっくりと嘯みしめる、ただそれだけのことです。

元妻となかなか決別できない八百屋の主人、女子学生に匿名でSMSを送りつづける大学教授 — こんな悲喜こもごもの人間模様は、タイトルどおり「パリ」で展開します。ピエールの住まいが、市街を一望できる高台にあることは偶然ではないでしょう。エッフェル塔やソルボンヌ大学といった美しい街なみが、近くから、あるいは俯瞰的に、これでもかと映しだされます。しかしそんな「インスタ映え」する空間であっても、ときに愚かで哀しい、でも憎めない人間の日常は変わりません。親を亡くし、恋人は去り、健康が損なわれてゆく — こうしたすべては、じつは失うことではないのです。と言うより、何かを失っても「不完全な人生」など決してない。むしろ喪失と折り合いをつけることが、本当に生きることなのだと思えるとき、ラストで映るパリの空はいつそう美しく感じられるでしょう。

(なかの よしひこ/フランス文学)



AV視聴コーナー利用ガイド

- ★AV視聴コーナーではオペラやクラシック、映画などの視聴覚資料が個別のブースで鑑賞できます。
- ★CDは貸出もしていますので、受付カウンターにて手続きをしてください。
- ★DVD等、一部資料は館内利用のみとなっています。複数(3人以上)で鑑賞をしたい場合は、グループ学習室をご利用ください。



学生選書ツアー

学生が図書館に置きたい本を選ぶ、「学生選書ツアー」（毎年2回実施）を昨年11月、大分市内の書店で行いました。選んだ本のうち参加者が特におすすめしたいものについてコメントを寄せてもらいました。今回選ばれた計103冊の本は、図書館入口の学生選書コーナーに並べていますので、ご覧になってください。



学生選書ツアーに参加して

国際総合学科 1年 高本 優海

私は今回、初めて選書ツアーに参加しました。参加した理由は、「自分が好きな本や面白い本を、みんなにも知って欲しいから」と「自分も何か新しい本に出逢いたいから」でした。

実際に書店へ行って本を選ぶとき、自分の読みたい本の他に、「どんな本があればいいだろう」「ためになる本も入れよう」と考えていると、普段は見に行かないようなジャンルの棚にも足が向き、「こんな本があるんだ」と、知らなかった本に出逢え、新しい発見がありました。選書ツアーに参加しなかったら、きっと、ずっと見なかったであろうジャンルもありましたが、これから本

屋さんへ行ったときは色々な階や色々なジャンルの本を見てみよう、と思いました。予算を考えながら本を選んでいても、面白い本や読みたい本がどんどん出てきて、最後は絞るのに迷うくらいでした。改めて、たくさん本を読みたいと思ったし、読書は楽しい、と思いました。

また、参加した自分以外のメンバーが選んだ本も、さらに自分とは違い、選んだ本を紹介し合う中でまた新しい本を知ることができました。今回の選書ツアーで、自分の希望通り、想像以上に新しい発見があり、本に関して世界が広がったような気がします。みなさんも次回は是非、参加してみてください。

参加者が特にすすめる本のコメント

美術科 1年 宮脇 法子

『アニメ私塾流最速で なんでも描けるようになるキャラ作画の技術』

この本は、主にキャラクターの描き方について書かれている本です。顔や目の描き方などの超基本的なところから、走ったり、ボールを投げたりといった、動きのあるポーズの描き方などの応用的なところまで、幅広く、わかりやすく解説してあります。

室井康雄 著
726.5/Mu73



フランク・トーマス、
オーリー・ジョンストン 著
778.77/Th5

『生命を吹き込む魔法』

この本は、ディズニーアニメーションについて書かれている本です。とても厚く、文章も多い本ですが、貴重な資料やイラストが多く載っており、ディズニーが好きな人にとってはとても楽しめる本です。またアニメーションを学ぶ人にとっては、とても役に立つ本でもあると思います。



美術科 1年 東 美穂

『ラインズ：線の文化史』 ティム・インゴルド 著 389/I54

「線Lineとは何か？」考えたことはあるだろうか？美術も音楽も文字も物語もはては人の繋がりすら何かしら線によって進行されている。内にあるものを表現するために紡いだ線に見えない繋がりを感じるだろうか。この本は我々の周りに溢れている生の営みを今一度考えるきっかけになるだろう。



『分解してみました： 現代人のためのテクノロジー解体新書』

何でも“なか”を覗きたくなるものだ。そんな欲求を楽しませてくれる。どんな些細な部品でもその存在は全体にとって不可欠であるというのは無機物も有機物も同じだろう。その小さな存在を造り上げる為にどれほどの歴史が詰め込まれているのか！考えるだけでワクワクする。

トッド・マクラレン 著
530/Ma21



『20歳(はたち)のソウル』 中井由梨子 作 916/N34

20歳という若さで癌によりこの世を去った大義さんの告別式で起こる奇跡。大義さんの想いは「市船ソウル」として「俺の心は死んでも、俺の音楽は生き続ける」の言葉のとおり今も生き続けているのだと思いました。普段抱える悩みなんて、小さい物に思えてきます。今年20歳を迎えるあなた、そうでない方にもオススメする感動の一冊です。



『成功する音楽家の新習慣』

ジェラルド・クリックスタイン 著 760.7/K16

欧米の音大生が読んでる“一生使える音楽の教科書”という事で、ずっと気になっていました。楽器や声楽などプロ・アマ問わず全ての方にオススメされる理由がわかります。芸術的にも技術的にもアプローチをどのようにすれば良いのかこんなに教えても良いのですか!? っていうくらい書かれています。ぜひ読んでみてください。



国際総合学科 1年 高本 優海

『このゴミは収集できません』

滝沢秀一 著 518.54/Ta73

芸人ならではのセンスで、清掃業者の日常、苦勞…あるあるを面白おかしく書かれたエッセイです。これを読めば“ゴミの分別”についての意識が100%変わります。ツイッターでは漫画風に描かれたものが載っていたりするので、気になったらまずはそちらも見てみてください。



『傘をもたない蟻たちは』

加藤シゲアキ 著 913.6/Ka86

人物の気持ちや空気が鋭く繊細に描かれていて、物語が濃く、短編集なのにとっても読み応えがあります。リアリティがあったり、ときに少しファンタジックだったり、独特な世界観が面白い一冊です。短編集なので隙間時間でもススイと読めますし、活字が苦手な人でも読みやすいと思います。



国際総合学科 1年 鷲尾 みずき

『もぎりよ今夜も有難う』

片桐はいり 著 914.6/Ka81

片桐はいりさんが書かれたエッセイ。女優になる前に働いていた映画館でのエピソードを、ユーモアいっぱいの片桐さんらしい言葉で盛り沢山つめこんである作品です。クスッと笑ってしまうこと間違いなしのオススメの作品です。これを読むと映画館へ映画を観に行きたくなるかも。



『十七歳だった!』

原田宗典 著 914.6/H32

原田宗典さんのエッセイ。立ち読みや電車やバスで読むのはオススメできません。なぜかてすごくおもしろくて爆笑してしまうから。男性ならきっと共感することが多いのでは!? 少し下品だけどもかしくてしょうがない、青春時代を描いたエッセイです。ぜひ!!



情報コミュニケーション学科 2年 大澤 将治

『ゼロ: なにもない自分に小さなイチを足していく』

堀江貴文 著 289.1/H87

この本を読んで印象に残っていることは、人生にマイナスは存在しないということです。証券取引法違反で逮捕され、すべてを失った堀江さんは小さなイチを足していき、ゼロから新たな人生を歩み始め、そこで経験し考えたことが書かれています。価値観が広がるのでぜひ読んでください。



『学びを結果に変えるアウトプット大全』

樺沢紫苑 著 002.7/Ka11

多くの人はインプット:アウトプット=7:3の比率で勉強しており、アウトプットよりインプットの方に時間を多く割いているそうです。僕も授業を受けっぱなしや教材を読んでいることが多いことに気がつきました。勉強して成果を出したい人にこの本をお勧めします。



情報コミュニケーション学科 2年 田中 遥希

『步步驚心:花萌ゆる皇子たち(上・下)』 桐華 著 923.7/To11

この本は中国のベストセラー作家「桐華」の大ヒット作です。中国、韓国でドラマ化され、大ブームを巻き起こしました。主人公は現代から康熙43年にタイムスリップした女の子じゃくぎです。じゃくぎの皇子との恋愛や皇位争いなど、実際に中国であったことをもとに書かれています。日本のとは違う新しい歴史小説をぜひ読んでみてください。



『14歳のバベル』

暖あやこ 著 913.6/D35

主人公の冬人は、8年前のある出来事がきっかけで保健室登校になってしまいます。そんな時に会ったのが、遙か昔に滅びたはずのシュメール人でした。この世界はただの夢なのか、なぜ冬人の前にこの世界が現れたのか。親友のために、家族のために、闘う主人公の姿がとても心に残る本です。



情報コミュニケーション学科 1年 廣瀬 晴香

『千夜一夜物語』

大場正史 訳 929.76/B94

女好きの王様が語り手であるシャハラザートの妹を引き連れ他の女の人と同じように痛い目に合わせようとするのを防ぐため語り手は毎夜王様のために物語を紡いでいく。毎回のお話がユニークで、ある商人と魔人の話や結婚前夜に遠い国へ飛ばされる男の話など摩訶不思議な小話集です。



『ラヴクラフト全集』

H・Pラヴクラフト 著 933.7/L94

自分の好奇心で購入させていただきました。いまだ地球で確認されていないor発見されていない未知の生物を五感で感じながら冒険していく物語で「クトゥルーの呼び声」と同系列であり、少し変わった文章と不可解な現象について惹きこまれてしまうのではないのでしょうか。全7巻です。



こんな本が新しく入りました

2018年9月～2019年3月までの新着図書の中から学科の先生が選んだ資料を中心に一部ご紹介いたします

学科	図書ラベル	書名	著者	学科	図書ラベル	書名	著者
美術科	022.57/Ma74	デザインの作法：本は明るいおもちゃである = Potential of book design	松田行正著	音楽科	761/X	音楽と建築	ヤニス・クセナキス 著
	295.345/Sh81	ウイスコンシン渾身日記	白井青子著		761.5/H48	新しい和声：理論と聴感の統合	林達也著
	501.8/N32	ユニバーサルデザインの教科書	日経デザイン編		762.06/N99	実験音楽：ケージとその後	マイケル・ナイマン 著
	689.21/O42	アニメ聖地巡礼の観光社会学	岡本健著		C/7840	New era [録音資料]	Andreas Ottensamer
	727.021/D69	デザイナーが未来に残したい私の3カ条			C/7848	String quartets and duets = 弦楽四重奏曲第1番&第2番他 [録音資料]	György Ligeti
	757.3/Sh34	配色の教科書：歴史上の学者・アーティストに学ぶ「美しい配色」のしくみ	色彩文化研究会著		B8.42/Ag/EMR 1/11-11/11	Gospel time：5 trombones = ゴスペル・タイム：トロンボーン5重奏	Jeffrey Agrell
	758/I93	本能のデザイン：岩倉榮利椅子に生きる	岩倉榮利編著		B9.3/Barb/GS	Concerto, op. 14 for violin and orchestra = バイオリン協奏曲 Op.14	Samuel Barber
国際総合学科	159.4/Ku93	好きなようにしてください：たった一つの「仕事」の原則	楠木建著	情報コミュニケーション学科	296.7/O66	ウユニ塩湖完全ガイド：世界一の絶景	Only OneTravel 著
	288.12/O37	あだ名で読む中世史：ヨーロッパ王侯貴族の名づけと家門意識をさかのほる	岡地稔著		361.04/Ki56	社会学はどこから来てどこへ行くのか	岸政彦 [ほか] 著
	333.8/C33	はしごを外せ：蹴落とされる発展途上国	ハジュン・チャン著		361.7/Mi67	地域再生の社会学	三浦典子 [ほか] 編著
	372.389/C42	格差と貧困のないデンマーク：世界一幸福な国の人づくり	千葉忠夫著		369.3/O55	ここに寄り添う災害支援	奥村茉莉子編集
	589.2/N37	クリエイティブ産業論：ファッション・コンテンツ産業の日本型モデル	中村仁著		675/Ta84	ブランド戦略・ケースブック：ブランドはなぜ成功し、失敗するのか	田中洋編著
	855/Ki89	フラ語入門、わかりやすいにもホドがある!	清岡智比古著		780.11/Mo12	図解眠れなくなるほど面白い物理でわかるスポーツの話	望月修著
	778(W)/Sa	サニー：永遠の仲間たち [映像資料]	カン・ヒョン Chol 監督・脚本		775/Te	Paramushir：信じ続けた土魂の旗を掲げて [映像資料]	TEAM NACS 出演
図書館	019.5/O72	小さな本の大きな世界	長田弘著 酒井駒子絵	図書館	762.35/G86	幸せのレッスン	エレヌ・グリモー 著
	304/Ts94	日本が売られる	堤未果著		791.04/Mo65	日は好日：「お茶」が教えてくれた15のしあわせ	森下典子著
	490.15/H61	19歳の君へ：人が生き、死ぬということ	日野原重明編著		809.2/O87	大声のすすめ。：和の発声法で伝わる話し方	乙津理風著
	674.3/I54	けっきょく、よはく。：余白を活かしたデザインレイアウトの本	ingectar - e 著		916/Ko61	虹色のチョコレート：働く幸せを実現した町工場の奇跡	小松成美著

図書館職員注目の一冊

『世界一やさしい問題解決の授業』

渡辺健介 著
141.5/W46

論理的思考の超入門書。一流の外資系コンサル企業であるマッキンゼーで働いた著者が、そこで学んだ問題解決の手法を中高生でも分かるように解説した本。「自分で考え抜き、行動する力」を身につけるために必要なことが分かりやすく書かれています。生きていくうえで起こる様々な課題。それに立ち向かう力を身につける足掛かりになる1冊です。(さんのみや)



『一切なりゆき：樹木希林のことば』

樹木希林 著
778.21/Ki22

2018年9月女優の樹木希林さんが永眠されました。波瀾万丈という言葉が似合う希林さんですが、ご本人は常に淡々としていました。それはこの本に綴られた言葉や想い、凜とした生き方からも伝わってきます。ユーモアあり、深い愛情あり。何度もその言葉にふれたくなる1冊です。(うしじま)



『ドーナツを穴だけ残して食べる方法：越境する学問-穴からのぞく大学講義』

大阪大学
ショセキカプロジェクト編
002/O73

「ドーナツの穴だけを残して食べる方法は？」という一つの問いに、あらゆる学問からアプローチします。物理的な方法を模索してみたり、哲学的に話を広げてみたりと、様々な切り口があって、こういう考え方もできるのか!と楽しくなってきます。自分の知らない学問の一端に触れられる一冊です。(たかとう)



『クリエイティブの授業』 オースティン・クレオン 編 159/K14

サブタイトルは、「君がつくるべきもの」をつくれるようになるために。目次には、ナンバリングされた10項目が並びます。例えば、④手を使おう ⑥いいものつくって、みんなとシェア ⑧他人には親切に(世界は小さな町だ)、など。何か作りたい、表現したいと思う人、クリエイティブであり続けたい人の参考書です。(くどう)



部門別年間ランキング

(2018年4月～2019年1月集計)

図書

▼ 図書館の分類(日本十進分類法)に基づき、各分野で一番貸出の多かった図書を発表します

0 総記	さがのせき むかしむかし	佐賀関子ども風土 紀編集委員会 編
1 哲学	うまくいっている人の考え方	ジェリー・ミンチントン著
	心理学検定基本キーワード	日本心理学諸学会 連合心理学検定局編
2 歴史	時間を忘れるほど面白い人間心理のふしぎがわかる本	清田予紀著
	日韓交流の歴史	歴史教育研究会(日本), 歴史教科書研究会(韓国)編
3 社会科学	思いやりを科学する	菊池章夫著
4 自然科学	「ひとりぼっち」こそが最強の生存戦略である	名越康文著
5 技術・工学	マンガで読む：人生がときめく片づけの魔法	近藤麻理恵著； ウラモトユウコマンガ
	物語のある広告コピー シリーズ広告編	
6 産業	詩や短編小説のような、物語のある広告コピーの中から、シリーズ展開している作品を紹介した本です。キャッチコピーを続けて読むと、本の頁をめくってお話をたどっているようです。	
	仕事も人間関係もうまくいくANAの気づかい	ANAビジネス ソリューション著
7 芸術・美術	いつかすべてが君の力になる	梶裕貴著
	梶裕貴は『進撃の巨人』エレン・イェーガー役を務める実力派声優です。この本で、「夢を持つこと」、それによって「人生の見方が変わる可能性がある」ことを伝えたい、と書いています。夢を持って挑戦する人の心に響く本なのだと思います。	
8 言語	韓国語能力試験TOPIK II 作文完全対策	前田真彦著
9 文学	第1位 九十歳。何がめでたい	佐藤愛子著
	第2位 真夜中乙女戦争	F著
	第3位	『コンビニ人間 村田沙耶香』 『蜜蜂と遠雷 恩田陸著』 『蘇える変態 星野源著』 『ちくま日本文学 寺山修司』

雑誌

▼ 貸出の多かった雑誌を第3位まで発表します。バックナンバーは雑誌架と集密書庫に置いています

第1位		English express CNNで放送された英語ニュースをそのまま文字化、対訳と解説が掲載された英語学習誌です。毎月付いているCDを聞くことで、リスニングの力もアップ。TOEICなどの試験対策に役立ちます。
第2位		BT：美術手帖 国内外のアートシーンをいち早く知ることのできる美術情報誌です。毎月特集記事があり、さらに、展覧会や芸術祭などにあわせて臨時増刊号が発行されます。
第3位		装苑 図書館で永く愛読されているモード・ファッション誌です。ファッション誌ですが、アート色の強い内容なので、写真集を眺めるような感覚で読めます。
第1位		シング = Sing (アニメ・2016年) さまざまな事情を抱える動物たちが、歌に夢をかけて活躍します。60曲以上のヒットソングが満載、たくさんのアーティストが協力しています。日本人吹き替えのキャストも豪華です。
第2位		IT イット "それ" が見えたら、終わり。(アメリカ・2017年) スティーヴン・キング原作のホラー映画です。世界を恐怖に陥れた殺人ピエロ、笑っている顔が本当に怖い……。底なしの恐怖を感じてください。
第3位		白ゆき姫殺人事件 (日本・2014年) OLの殺害容疑を掛けられた女性をめぐる、人間の悪意が暴かれます。原作・湊かなえ、監督・中村義洋、主演・井上真央。
		ファンタスティックビーストと魔法使いの旅 (イギリス、アメリカ・2016年) ファンタスティック・ビーストシリーズ第1作。魔法動物学者が、不思議なトランクを持ってニューヨークへ。奇想天外な大騒動が始まります。
<p>こちらもランクイン!</p> <p>音楽科卒業演奏会／修了演奏会DVDなど</p> <p>音楽科の卒業演奏会や終了演奏会のDVDもよく視聴されました。コンサートや発表会の準備に役立ていただきありがとうございます。ほかに、『椿姫』『メリー・ウィドウ』など、オペラのDVDもよく視聴されました。</p>		

本や楽譜などの資料の
購入リクエストはMyOPACの
から受付しています!



ただし、ライトノベル等当館の収書方針に合わない資料は購入を見合わせています。
まずはリクエストを送ってみてください!

5月は図書館まつり
図書館へ行こう!



ほん太

大分県立芸術文化短期大学附属図書館
図書館だより No.32

発行日 2019年4月1日発行
編集・発行 大分県立芸術文化短期大学 附属図書館
〒870-0833 大分市上野丘東1番11号
TEL・FAX (097) 545-4235
http://www.oita-pjc.ac.jp/library/
図書館キャラクターデザイン：若杉郁子